

<div>教育目標</div> <p>心豊かに充実した生活を送ることのできる子どもの育成 ～主体的に生き生きと遊ぶ子どもをめざして～</p>	
<div>年度末の最終評価</div>	
自己評価	<div>教育目標の達成状況，次年度に向けた見直し</div>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div>

学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	11月20日	学校運営協議会
最終評価		

（１）幼稚園教育（保育の改善・充実）について

<div>具体的な取組</div> <p>○エピソードや研究保育を通して子どもたちの姿を捉え，育ちに着目しながら協議をする。 ○昨年度に引き続き，園内の自然環境を生かした豊かな教育活動ができるよう，教材研究や環境構成について工夫する。 ○子どもの育ちを“資質・能力の3つの柱”の視点から見取っていく。 ○週案の作成・反省・評価によるPDCAサイクルの確立。</p>
<div>（取組結果を検証する）各種指標</div> <p>○記録，事例研究による子どもの変容， 週案の反省・評価 ○アンケート項目「子どもは，自分でしたい遊びを見つけて楽しんでいる」「子どもは，園内の自然環境を遊びに取り入れて楽しんでいる」</p>

中間評価

自己評価	各種指標結果 ○ 園内研究では、論文作成もあったので、自然との関わりと科学する心の育ちと関連させながら焦点を絞った事例の分析ができた。 ○ アンケート項目、「子どもは自分からしたい遊びを見つけて夢中になって遊んでいる」「子どもは自然とかかわりながら遊ぶことが好きである。」に関しては、どちらも、各学年「そう思う」「大体そう思う」を合わせると、100%になるという高い数値であった。
	分析（成果と課題） ・分散登園の期間から自然環境に親しめるよう、子ども自ら興味をもってかかわれるように計画的に環境構成してきた。そのことが、子どもが興味をもち自ら遊びを見つけられる姿へとつながった。アンケートの結果からもそのことが伺える。
	分析を踏まえた取組の改善 ・今後も、これからの季節に応じた環境や、子どもの育ちにつながるような環境構成や援助を見直していきたい。
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標 ・事例研究 ・アンケート項目 ・週案の評価
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 ・今年度は、感染防止対策の消毒や様々な面で、通常通りでなく大変であるが、アンケートの結果が良好であるので、幼稚園の教育への理解があるのではないかと。

最終評価

（中間評価時に設定した）各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

（２）幼小連携・接続に関して

具体的な取組	
○ 近隣の小学校への保育公開、小学校の授業参観・研究授業の参観 ○ 保幼小連携会議への参加 ○ 読書ノート「親子で絵本！」の活用度を定期的に点検、把握、改善	
（取組結果を検証する）各種指標	
○保育公開の参加実績・小学校の授業参観、研究授業参観の参加回数。	

○保幼小連携会議への参加回数と協議内容。
 ○交流事業の打ち合わせの実施や実践結果。
 ○アンケート項目「読書ノート“親子で絵本”は利用している」「親子での絵本の読み聞かせは大切であると感じる」
 ・「親子で絵本！」の活用実績。

中間評価

自己評価	各種指標結果
	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナ感染防止対策により、校種間の参観が無理な状況になっている。通常なら参観で子どもの育ちについて共有できた部分もあるが、仕方がない。 ・小学校の教員と研修する機会が持てたのは良かった。 ・アンケート項目「親子での絵本の読み聞かせは大切だと思う。」については、「そう思う」「大体そう思う」を合わせると100%になるが、「読書ノート“親子で絵本”は利用している」の項目は、年少は61%、年長は52%とかなり低い数値になる。
	分析（成果と課題）
	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせは大切だと思うが、読書ノート「親子で絵本」の活用と結びついていないことがわかる。読書ノートに足跡を残す意義を伝える必要がある。
学校関係者評価	分析を踏まえた取組の改善
	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会などの機会を利用して、読書ノートの活用を促したいと考える。
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・実施されれば保幼小連携会議への参加、協議内容。 ・「親子で絵本！」の活用実績。
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は幼小の交流は難しくなるが、できることがあれば進めていってほしい。 ・「親子で絵本」の活用がいつも課題になる。もっと簡単な形式に変えることはできないのだろうか。

最終評価

（中間評価時に設定した）各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

（３）預かり保育に関して

具体的な取組	<p>○指導計画を見直し、安心・安定して預かり保育に参加し、色々な遊びを楽しめるよう配慮，工夫する</p> <p>○長時間利用児の気持ちを十分に受け止め配慮する。</p> <p>○教育時間内と預かり保育時間の子どもたちの姿を担当，担当教員で密に連絡し合いながら，担当教員の態勢を整えながら，子どもとのかかわり方を考え見直していく。</p>
(取組結果を検証する) 各種指標	<p>○預かり保育参加人数</p> <p>○預かり保育の中での子どもたちの姿や教師のかかわり。</p> <p>○アンケート項目「子どもは預かり保育に喜んで参加している」「子どもは預かり保育の遊びを楽しんでいる」「預かり保育は保護者にとって有効である」など</p>

中間評価

各種指標結果	<p>・預かり保育に関しては，感染防止の観点から，新 2 号以外は利用人数の上限を設定せざるを得ない。よって，当初の指標による結果分析が難しくなった。</p> <p>ただ，参加している子どもは喜んでいる。就労の保護者と共に，リフレッシュ利用も再開している。</p>
自己評価	分析（成果と課題）
	・感染防止対策により，1 号認定の利用人数を毎月調整する必要がある。
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	・前月提出の予定表による利用人数の把握と調整は今後も必要であると考えている。
	(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標
	・預かり保育の利用人数と感染症対策の両立
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策
	・就労する保護者だけでなく，リフレッシュ利用の再開は保護者にとって良いと思うが，感染症対策との両立は大変であると思われる。

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題），重点目標の達成状況，次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者	学校関係者による意見・支援策

評価	
----	--

(4) 子育ての支援に関して

具体的な取組 ○子育て支援クラス教育相談のボランティアスタッフの質の向上。 ○未就園児の保護者への幼稚園教育の発信。 ○地域との連携を子育て支援にも生かす。	
(取組結果を検証する) 各種指標 ○子育て支援の取り組みの回数や参加人数，教育相談件数。 ○保護者の意見。	

中間評価

各種指標結果 ・未就園児クラスが6月から再開したが分散登園であったため，一人当たりの利用回数は例年の半分になっている。10月より全員登園に切り替えた。 ・登録者数は，昨年度に比べてたまご組もひよこ組も減少している。	
自己評価	分析（成果と課題） ・未就園児クラスについて，さらなるPRを検討する必要がある。 ・参加している保護者は子育ての相談ができて有効であると感じている。
	分析を踏まえた取組の改善 ・地域に本園の子育て支援としての役割を周知できるよう，方法を検討していきたい。
	(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標 ・子育て支援の取り組みの回数や登録者数。 ・保護者の意見。
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 ・ポスターを貼るなど，例年と変わらないが他にも協力できることがあればしていきたい。

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題），重点目標の達成状況，次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善

学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策
---------	----------------

（５）地域とのかかわり（社会に開かれた教育課程）に関して

具体的な取組	
<p>○学校運営協議会「どんぐりーず」による園行事運営を見直し、有効活用する。</p> <p>○PTA、おやじの会のとの行事については、保護者の実態や負担も鑑み、見直しを図る。</p> <p>○関係者評価を園運営に生かす。</p>	
（取組結果を検証する）各種指標	
<p>○地域との交流の内容や回数。運営協議会理事，PTA，地域の方の意見。</p> <p>○アンケート項目「学校運営協議会 どんぐりーずと参画する行事は子どもたちにとって良い経験となっている」「学校運営協議会 どんぐりーずに子どもたちも親しみをもっている。」など</p>	

中間評価

各種指標結果	
・アンケート項目は、行事の実施が変更になったので、指標にできなかった。	
自己評価	分析（成果と課題）
	・保護者の就労の増加や感染防止のため、学校運営協議会どんぐりーず，PTA.，おやじの会などの行事は感染防止の観点から縮小せざるを得なかった。しかし、感染防止対策をとりながら形態を変えて実施できたことがよかった。
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	・今後も、感染防止対策を講じながら、今できるやり方で協力してもらえるようにしたい。
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
	・感染防止対策を講じながら行ったと取り組みについては、アンケート項目を検討して問うように入れていきたい。
学校関係者による意見・支援策	
・今年度の様々な PTA や地域との活動は難しいと思われる。協力できることがあればしていきたい。	

最終評価

（中間評価時に設定した）各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題），重点目標の達成状況，次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善

学 校 関 係 者 評 価	学校関係者による意見・支援策
---------------------------------	----------------

（５）教職員の働き方改革について

重点目標	
○教職員の業務内容・勤務時間を意識し、改善点を明らかにし、今年度配置された校務支援員を有効活用しながら、働き方改革を推進する。	
具体的な取組	
○校務支援員が有効に活用できるように見通しをもって保育計画をする。	
○会議の精選・効率化。行事の内容や業務の分担の見直しと効率化。超過勤務の短縮。電話対応時間を１８時までとする。	
水曜日をノー残業デーに設定し、実現する。	
(取組結果を検証する)各種指標	
・校務支援員の活用により改善できた業務内容や教職員の勤務時間の実態把握。年休取得率。	

中間評価

各種指標結果	
・校務支援員による新学期準備で担任業務の軽減 ・教材や絵本の整理, 用具の移動なども校務支援員に任せることができた。	
・夏季休業中の年休取得日数が昨年度より増えた。・消毒作業の手が増えて助かった。	
自 己 評 価	分析(成果と課題)
	・校務支援員の活用として、担任業務が軽減できた。しかし, 2 学期が始まると, 校務支援員に依頼する業務の選別が計画的にできずにいたことがあった。それにより超過勤務時間が延びることもあった。今後はより有効に活用できるようにしたい。
	分析を踏まえた取組の改善
	・保育計画をしっかりと立てて, 校務支援員に依頼する業務の選別ができるようにしていきたい。
学 校 関 係 者 評 価	(最終評価に向けた)取組の改善を検証する各種指標
	・教員の超過勤務時間 ・年休取得
	学校関係者による意見・支援策
・消毒作業など様々な業務が増えて大変だと感じた。校務支援員という立場の方が有効に活用できるとよいと思う。何か力になれることがあればしたいと思う。	

最終評価

(中間評価時に設定した)各種指標結果

自己評価	分析(成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策